

## 各会計予算を前年度と比較すると

会 計 名	平成 26 年度 予算額 (A)	平成 25 年度 予算額 (B)	比 較			
			(A) — (B)	伸 率		
一 般 会 計	76 億 1,000 万円	71 億 9,600 万円	4 億 1,400 万円	5.8%		
特別会計	十王財産区	55 万円	41 万円	14 万円	34.1%	
	下水道	8 億 1,034 万円	6 億 9,977 万円	1 億 1,057 万円	15.8%	
	国民健康保険	16 億 931 万円	16 億 2,909 万円	▲ 1,978 万円	▲ 1.2%	
	農業集落排水	1 億 5,425 万円	1 億 4,646 万円	779 万円	5.3%	
	介護保険	15 億 9,240 万円	15 億 2,209 万円	7,031 万円	4.6%	
	後期高齢者医療	1 億 3,825 万円	1 億 3,527 万円	298 万円	2.2%	
事業会計	水道	収益的支出	3 億 1,158 万円	2 億 9,822 万円	1,336 万円	4.5%
		資本的支出	1 億 2,552 万円	1 億 1,269 万円	1,283 万円	11.4%
	病院	収益的支出	12 億 213 万円	11 億 6,875 万円	3,338 万円	2.9%
		資本的支出	9,947 万円	1 億 3,941 万円	▲ 3,994 万円	28.6%
	訪問看護 ステーション	収益的支出	3,925 万円	3,504 万円	421 万円	12.0%
		資本的支出	0 万円	0 万円	0 万円	-
合 計	136 億 9,305 万円	130 億 8,320 万円	6 億 985 万円	4.7%		

※万円未満は端数を整理しています。  
※比較の「▲」は減少を表しています。

### 1. 子育て・教育

#### ◆子育て支援の充実

○特定不妊治療費助成事業、ニコニコマタニティライフ応援事業、小児インフルエンザ接種費用助成事業などのほか、第3子以降の子どもの保育料無料化と、乳児から中学生まで医療費の自己負担額を無料化する「しらか元気っ子事業」を継続し、子育て環境の充実・支援に取り組みます。

○よつば保育園の運営について、指定管理者制度による運営委託方式から民設民営方式による保育サービスを提供し、施設の改修整備を支援します。

#### ◆学校教育の充実

○中学校統合、小学校再編については、スムーズな統合に向けて準備を進めるとともに、(仮称)町民武道館等整備事業及び統合中学校の管理棟増築工事等を実施します。

○地域の特別支援教育を総合的に推進する発達障がい理解推進拠点事業に新たに取り組みます。

○学校生活支援員等の配置を拡充し、特別支援教育の充実や個々の児童へのきめ細やかな対応、いじめ・不登校の未然防止策を講じます。

○各学校の施設整備やスクールバスの充実等、安全・安心な学校環境づくりに努めます。

○児童生徒の健全な心身の育成などを目的に、安全で安心な学校給食を提供

します。また、学校給食共同調理場の充実を図り、平成28年度からの民間委託をめざし準備を進めます。

### 2. 雇用・産業

#### ◆農林業の活性化

○地域の特色ある産地づくりを創造するため「水田フル活用ビジョン」を作成、農業再生協議会を中心に関係機関と連携し、農業者のための取り組みを行います。

○担い手への農地利用の集約化のため、効率的かつ効果的な農地集積と地域を中心とする経営体の規模拡大を戦略的に進めます。あわせて、新規就農者など新たな担い手の確保と育成・支援に取り組みます。

○これまでの中山間地域等直接支払推進事業、農地・水・農村環境保全向上対策事業の枠組みを基本に、新たな地域施策「日本型直接支払」により農地の維持保全に取り組みます。

○地域農業活性化センターを中心に、遊休農地の解消、耕畜連携の推進に継続して取り組みます。

○園芸作物及び畜産の振興には、県の事業を導入し、農業産出額と農業者の所得向上に向けて取り組みます。

○町内農産物等の放射性物質自主検査事業を継続し、安心・安全な農産物の提供に努め、地産地消を一層の推進します。

○農村整備関連は、昨年7月の豪雨災害により大きな被害を受けた農地、農